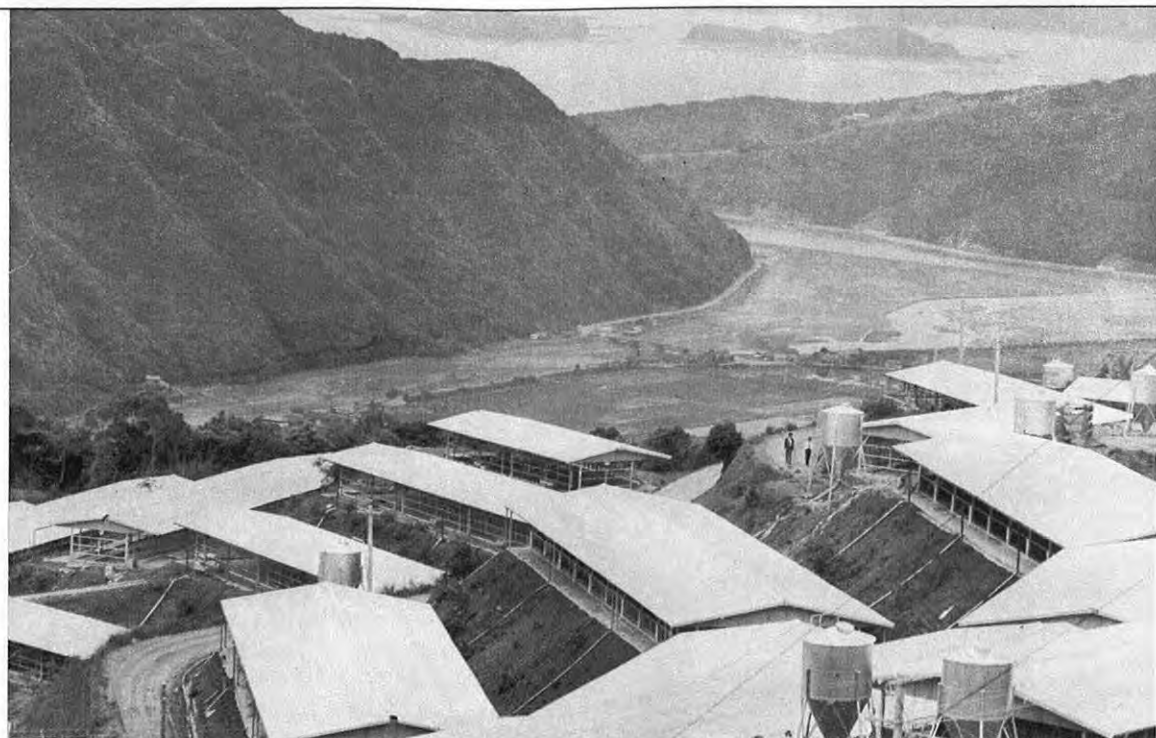
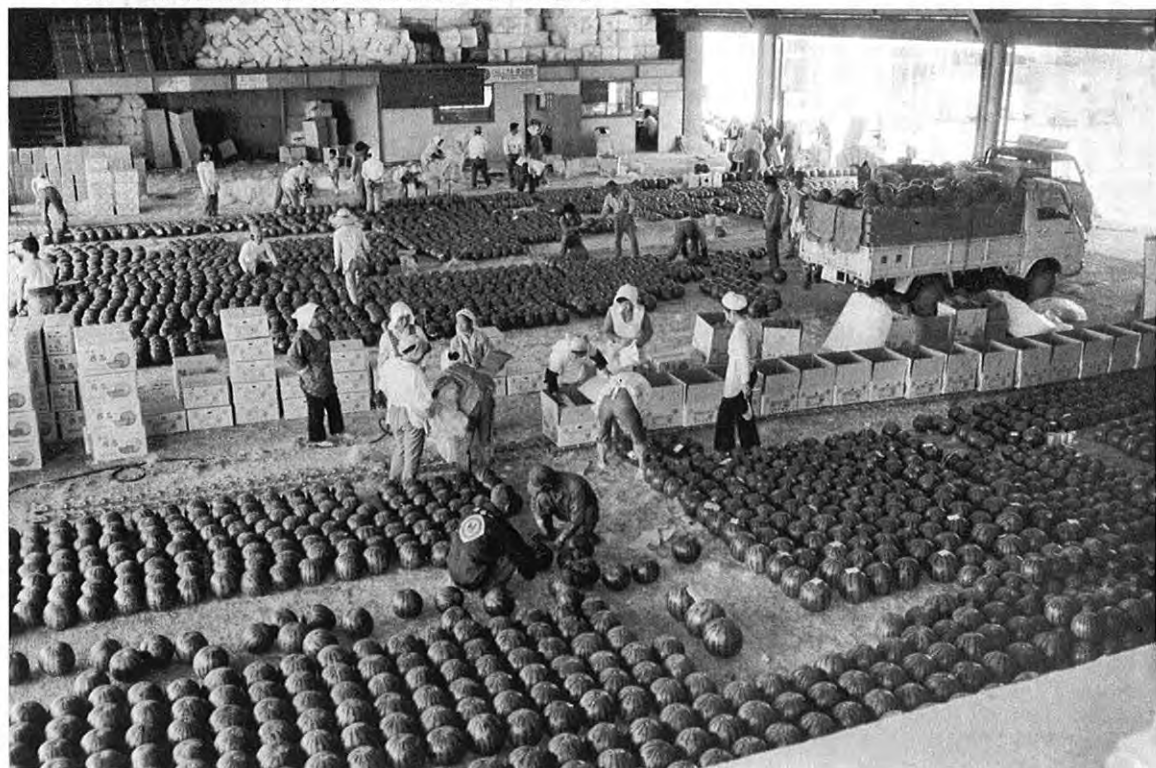


# 山上に設けられた養豚団地と西瓜のパレード

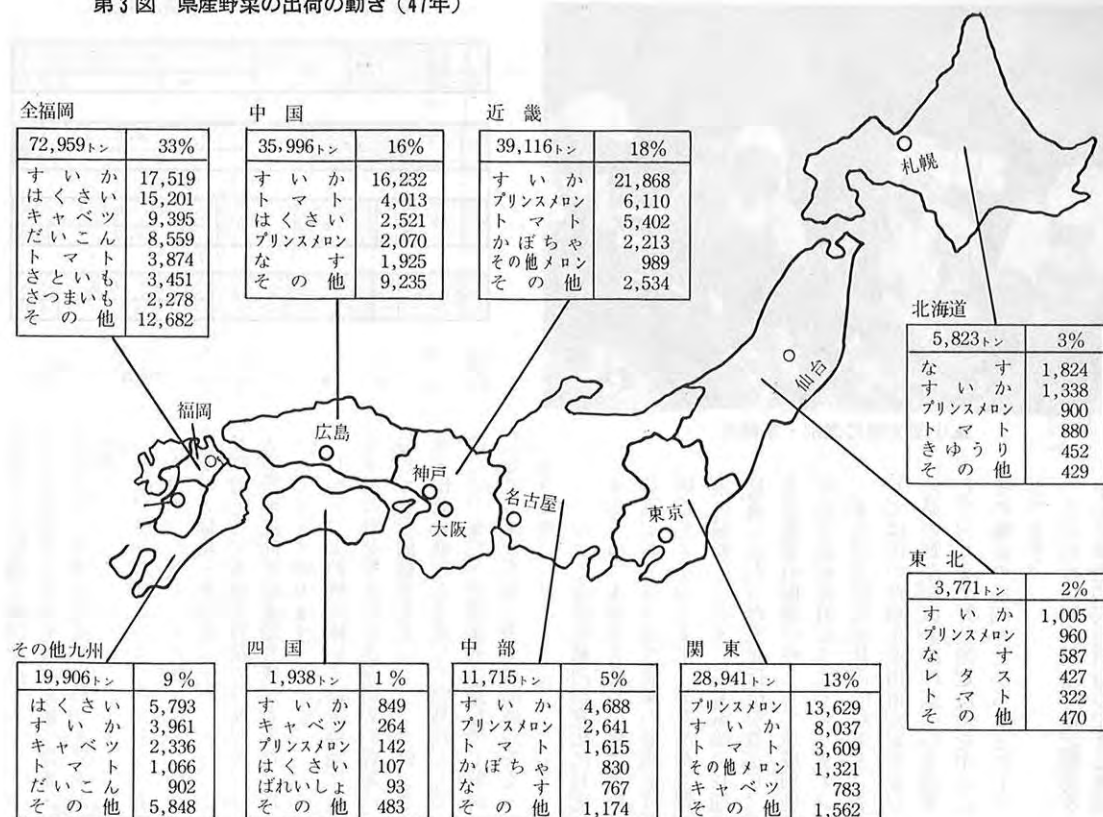


▲天草は新和町の山の頂上に展開する大規模養豚団地の豚舎群

▼日本一の西瓜生産を誇る植木西瓜の整然たる行列



第3図 県産野菜の出荷の動き(47年)



## 49年産西瓜の取引懇談レポート

49年5月、県経済連・県野菜振興協会が市場や仲買卸売代表と懇談したときの模様です。

- ### △京阪神地区▽での意見
- 連続出荷をしてみたい。
  - 選果選別は長足の進歩をきたした。他県の産地も努力しているのではなお一層努力して他県の追従をゆるぎないようにしてもらいたい。
  - 甘いばかりではいけない。良い品物を作ってもらいたい。
  - 農地間の格差がないようにしてもらいたい。
  - 糖度検定報告 一〇度〜一一度
  - 糖度はもう一度位高くてよい。悪い品物はない。本日の市況は秀で四千三百円、優で三千四百円。
  - 消費者は規格を信用して買う。秀の中に優の品が入っていたものがあつた。
  - 希望の価格決定は生産者の努力によって現われる。味はよいが品物は揃っていないとはいえない。
  - 小売店は近代化しているのでポスター等を貼る場所はないので宣伝用としてビニール袋をサービスとして配付してもらいたい。
  - 糖度は昨年九度〜一一度あつた。本年は天候に恵まれながら一度位しか高く
  - 今後の天候が左右するが野菜と違って調味料で味付けができないので味のよいものを出荷してもらいたい。
  - 規格の統一をしてみたい。同一箱で玉に不同のものが入っている。よいものはよい規格で悪いものはその規格で出荷してほしい。仏を造って魂を入れるのと同じ。魂のぬけたものが入っていれば信用をなくする。
  - 終期に選果が悪くなるので注意してもらいたい。
  - 糖度は西瓜の生命であるので明年はさらに一度〜一五度位上げてもらいたい。食べた後の満足感を得られるものを作ってほしい。
  - 悪いものは荷受に報告するので改善してもらいたい。
  - これからの出荷で価格が高いと早出しの傾向になるので注意してほしい。
  - 「すいしょう」の品種は肉質が軟いので早目に出荷すること。
  - 配達販売ができないので大きいものは売りにくい。玉売りはM級までである。
  - 高価のときは一個売りは困難である。家族数によつた販売方法が多いので四個切りにして販売する数量が多い。そのためには大きいものがよろしい。特に大きいものは選別を厳重にしてみたい。
  - 蔓の切方が深過ぎる。二〜三cm位で切ってもらいたい。